



千地申 2号 「船橋駅びゅうプラザの業務移管」に関する交渉を行う！②

千葉地本は、船橋駅びゅうプラザの業務移管に関する団体交渉を行いました。
その②では(株)びゅうトラベルサービス（以下VTS）へ業務移管による取扱いの変更点や教育、
出向先の労働条件、移管後の体制、職場環境改善について議論しました。

■ 施策実施により変更となる業務や教育について

- (組合) 業務移管により変更となる取扱いは。
- (会社) 収入金をVTSで取り扱うので入出金機が入る。受託商品ではスカイマークの航空券が発売できなくなるが、それ以外に大きな変化はない。
- (組合) びゅうプラザでは入出金機の取扱いに不安を抱いている。教育はどのようなやり方、期間で行うのか。
- (会社) OJTでやっていく予定だが計画は未定。入出金機の取扱いが主となり、業務内で教育ができると思う。
- (組合) 出札では団体乗車券の取扱いに不安を抱いている。出札ではこれまで団体乗車券をびゅうプラザへ案内していたが、今後はそれは問題ないのか？
- (会社) JR券販売もVTSに委託しているので、団体乗車券も発売ができる。お客さまのニーズに合わせて対応していただきたい。

■ 出向や面談について

- (組合) 業務移管にあたっては事前説明を丁寧に行い、出向、異動、担務変更は面談にて本人が選択できるようにすること。また、育児介護、通勤箇所などの個々人の特情を十分に配慮すること。
- (会社) 社員の異動については、任用の基準に則り取り扱っているところであり、社員の希望等については個人面談等で前広に把握しているところである。個々人の特情は今後も面談で把握していく。
- (組合) 出向の目的はしっかりと説明して行うこと。
- (会社) 出向の目的はプロパー社員の教育や、本人の経験のため。説明はしっかり行う。

■ 施策実施後の体制等について

- (組合) 車いすのお客さま対応や、異常時対応等を強化し、安全・サービスレベル向上のため、店舗移管後の船橋駅の体制は、通年において日勤が生み出せる体制とすること。
- (会社) 業務に必要な要員は確保していく考えである。今施策で要員が増えることはないが、必要に応じ対応していく。
- (組合) 施策実施後は、びゅうプラザのカウンターを4窓に（減らし）て運営すると聞いているがどうなのか？
- (会社) 運営はVTSになるので、ここでは要求できるものではない。4窓にした理由は把握していないが、体制をコンパクトにしたいという方針は聞いている。
- (組合) 現場では4窓では無理だという声がある。現場の意見をVTSに伝えることはできないか。
- (会社) VTSと支社で定期的に情報交換を行っているので、伝えさせていただく。
- (組合) 平日の営業時間を、働きがいの向上や超勤抑制のために、10:00～19:00に（短縮）すること。
- (会社) 営業時間は平日10:00～18:00、土休日10:00～17:00に変更する。営業終了間際に接客を開始しても終業が遅くならないように変更した。
1月3～7日は臨時休業、8日からVTSで営業する。
しっかりと準備したいという社員の意見を反映した。
- (組合) 今後も社員の意見をもとに働きがい向上を図ること。
- (会社) 了解。

平日の営業時間

現行 10:00～20:00 → 改正 10:00～18:00

現場から強く求めていた、営業時間短縮を実現！

団体交渉は全項目終了しました。1月8日の施策実施に向けて職場での面談や説明会、レイアウト変更が行われます。

施策実施後もJR東労組は現場と共に検証をしていきます。
働きがいのある営業職場を創りましょう！

